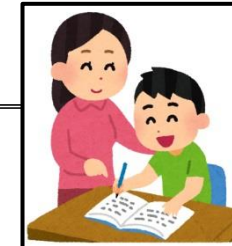


家庭学習の手引き

保管用（見やすいところに貼ってください。）

お子さんの力を伸ばすために



学習に対する意欲を高めることが大切です！

そのためには…

- ◆できるだけノートなどに目を通して、お子さんの学習の様子を把握してください。
- ◆間違いや、できなかったところを指摘するのではなく、頑張りと成果を大いに褒めましょう。

緑小学校では全学年でドリル等を使用し、全校で一体となって子どもたちの力を伸ばす取組を進めています。①授業中での活用→②宿題・家庭学習での活用→③グリーンタイム（朝）での活用、のくり返しで子どもたちに基礎学力を定着させたいと考えています。各ご家庭でも、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

家庭学習 緑小スタンダード

- 1年生 ・宿題（プリント…授業に関わる内容）
- 2年生 ・宿題（プリント…授業に関わる内容・ドリルパーク）
- 3年生以上・宿題（ドリルの問題をノートに解く課題等・ドリルパーク授業に関わる内容）
＋
・自主課題（ノートにまとめる）

※宿題は教師が出す課題です。
上記のほかにも音読や日記などが宿題で出ることもあります。
自主課題は、自分で考えて決めた内容です。

家庭学習の習慣化のために

◆学習時間の目安

- ・学年×10分＋10分が目安です。

◆規則正しい生活がカギ！

- ・早寝、早起き。
- ・朝食をとる。
- ・自分で時間割や学習用具をそろえる。
- ・家に帰ったら、早めに学習をすませる。
- ・テレビやゲームは時間を決める。

※メディアに触れるのは、2時間を目安に！

◆学習の大切な3つのポイント

- ・学習する時はテレビを消す。
（家族の協力が必要です。）
- ・正しい姿勢、正しい鉛筆の持ち方（三角持ち）を意識する。
（姿勢が悪いとすぐ疲れてしまい、集中力が続きません。）
- ・机の上をきれいにかたづける。
（環境が整うと、思考もスッキリと整います。）



後にしてしまうと、
やらないことが多くなりがちに…

宿題について

- ◆基本的には、ドリルの問題をノートに行います。（プリント・デジタルドリルの場合もあります）
- ◆答え合わせは、子どもたちが自分で行うことを目指します。ですが、低学年のうちは、お家の方のご協力が必要です。丸付けのご協力をお願いします。
- ◆間違えた問題には、印（○）を付けておきます。ドリルはくり返し取り組みますので、2回目以降にあっていれば○を塗りつぶします。（苦手な問題の把握と達成感を味わうためです。）
※間違えた問題は落ち着いて見直し、「わかった！」になるよう練習しましょう。
- ◆ドリルを活用した宿題には、以下のような課題が出ます。（例）

〈漢字ドリルの場合〉

- ① 新出漢字の欄をノートに写す。
- ② 「読む」のページをノートに写す。
- ③ 「書く」のページをノートに漢字で書く。

テストをして、わかったかどうかを確かめるところまで取り組むようにしましょう。

〈算数ドリルの場合〉

- ① 授業で取り組んだ内容の問題。
- ② 一度取り組んだ問題に、少し間をおいて取り組む。



参考資料：教育同人社 Web サイトより引用

- ◆宿題が終わったら、＋αで自主学習に取り組みます。何をしたらよいか困ったら、ドリルも活用できます！
- ◆宿題を忘れた子については、休み時間等を利用して取り組みます。

